

# 特許の成果

2002年の新規登録権利の中から、他社への実施許諾が予測されるものなどを、成果の一端として紹介する。

特許第3281281号

「音声合成方法」

発明者：籠嶋 岳彦(ほか1名)

音声素片に対してピッチ周期及び継続時間長を変更して生成される合成音と自然音声の間のひずみに基づく閉ループ学習によって素片を生成することを特徴とする音声合成方法。

特許第3241850号

「リチウム二次電池」

発明者：高見 則雄(ほか2名)

リチウム二次電池の排水電解液にエチレンカーボネート系電解液を用い、負極に黒鉛構造の発達した球状あるいは繊維状の炭素質を用いることにより、高容量でサイクル寿命の優れた高電圧を維持するリチウム二次電池を提供する。

特許第3197259号

「定期券発行機」

発明者：小林 孝(ほか1名)

購入申込用紙を読み取って定期券を発行する装置に関し、電話番号などを検索データとして購入申込用紙の画像情報を保存する機能を備え、保存登録の際に検索データに誤りがあったときにはこれを訂正入力することができる。

特許第3251640号

「データ伝送方法とその装置」

発明者：塩原 康壽

送信要求があった場合に、その送信要求の緊急度をシステム全体の送信要求の緊急度と比較し、この結果、この送信要求の緊急度が高い場合には、この送信要求に優先的に伝送路使用権を与えることにより、システム全体を把握しながら、伝送路使用権の授受を行う。

特許第3300703号

「移動無線通信システムとその無線移動局装置」

発明者：田中 正之(ほか1名)

アナログモード/デジタルモードのうち的一方を選択的に使用可能な無線通信システムに関する発明で、移動局はユーザーが指定したモードで呼を接続すべく基地局へ要求を行い、基地局は要求されたモードが使用可能か判断し、使用可能であればこのモードで呼を設定し、使用不可であれば他方のモードで呼を設定する。

特許第3285853号

「CT装置」

発明者：尾崎 真浩(ほか1名)

X線CT装置において、まず第1の画面に表示された診断部位、例えば「頭部」を選択すると、第2の画面に頭部の複数の検査計画が表示され、第2の画面にて実行用の検査計画を選択する。これにより、数十～数百の検査計画の中から診断用の検査計画を簡単に選択・実行することができ、オペレータの負担を軽減することができる。

特許第3335713号

「ガスタービン燃焼器」

発明者：高原 健司(ほか2名)

ガスタービンで窒素酸化物( $\text{NO}_x$ )が発生する原因は、燃焼器内の局所的な高温化にある。この発明は、燃料を予混合するとともに、火炎を確保するための拡散燃料をも絞り込んで超低 $\text{NO}_x$ 化と安定燃焼とを同時に満たしている。

特許第3135795号

「ダイナミック型メモリ」

発明者：高瀬 覚

高速メモリのセルアレイで、複数のサブアレイと、キャッシュとして使用されるセンスアンプがチップの一边に沿って交互に平行に配置されている。これにより、チップ内のデータパスを短くしてデータ転送の高速化を図ることができる。

特許第3100892号

「高熱伝導性窒化けい素焼結体およびその製造方法」

発明者：小松 通泰(ほか2名)

焼結体中の粒界相を結晶化させるとともに、不純物陽イオン元素含有量を0.3重量%以下とすることにより熱伝導率を $80\text{W/m}\cdot\text{K}$ 以上とした窒化けい素焼結体で、この焼結体を使用することで放熱特性に優れ強度の高いセラミックス回路基板を得ることができる。

特許3290354号

「洗濯機及び洗濯機の駆動方法」

発明者：永井 一信(ほか1名)

洗濯機の静音化及び高効率化を低コストで実現するためにモータの位置検出素子としてホールICを用いるとともに、このホールICからの信号に基づいて正弦波の電流をモータの巻線に流すことを特徴とするダイレクトドライブ方式の洗濯機。

特許第3183943号

「脱水兼用洗濯機」

発明者：村上 寛

中空の槽軸によって回転される洗濯回転槽と、この槽軸内に挿通され駆動軸と一体の攪拌(かくはん)軸によって回転される攪拌体(パルセータ)を有し、前記駆動軸と槽軸に対して、上下移動して連結あるいは連結解除するクラッチパイプと、クラッチパイプの連結を解除する電磁装置を有する全自動洗濯機。

米国特許6,463,396号

「Apparatus for controlling internal heat generating circuit」

発明者：西垣 信孝

CPUの内部に埋め込まれた温度センサ素子からの信号によりCPUの内部の温度を測定し、測定温度が閾(しきい)値を超えた場合にCPUの動作周波数を下げたり、パソコンをシャットダウンし、CPUの熱暴走や破壊などを未然に防ぐ。